

平成 19 年 10 月 10 日

各 位

西日本シティ銀行
日本政策投資銀行

YOCASOL(株)のEBO^{*1}に対し、協調融資を実施

～協調融資により円滑な事業継続を支援～

西日本シティ銀行（頭取 久保田 勇夫）と日本政策投資銀行（総裁 室伏 稔）は、このたび YOCASOL 株式会社（社長 西堀考雄、福岡県大牟田市、以下「同社」）に対し、同社が株式会社 MSK（社長 笠原唯男、東京都新宿区、以下「MSK」）から福岡工場を EBO によって承継するための資金について、協調融資を実施しましたのでお知らせいたします。

1. 本件の概要

同社は、太陽電池モジュールの大手メーカーである MSK が福岡工場（以下「同工場」）を閉鎖することを受けて、同工場の事業を承継することを目的に、同工場の従業員等によって設立された新会社です。

同社の当該事業承継に当たり、事業取得資金のほかに創業資金や運転資金等が必要となるため、西日本シティ銀行と日本政策投資銀行はシンジケート方式によりローンを提供し、事業承継に必要な資金調達を支援いたしました。

なお、同社の事業取得に際しては、地場投資会社である(株)ドーガン・インベストメンツが管理運営する「九州事業継続ブリッジ投資有限責任組合（九州ブリッジファンド）^{*2}」がメインスポンサーとして出資したほか、(株)丸紅が出資を含めた事業パートナーとして参画しています。

2. 同社の今後の展開

太陽電池は、太陽光を直接電気にかえるエネルギー変換装置であり、石油資源の枯渇問題や環境汚染問題を解決する新しいエネルギーとして注目されています。

同社は、長年培ってきた同工場従業員の高い生産技術ノウハウと現有設備の承継により、今後主にシリコン結晶系の太陽電池モジュールを製造し、事業パートナーである(株)丸紅との連携により、市場が拡大中である EU 諸国を中心に販売していく予定です。

西日本シティ銀行と日本政策投資銀行は、本件協調融資が同社の円滑な事業継続を通じて地域経済の発展、地域の雇用確保・創出等にも資すると考えており、両行は今後も多様な資金調達スキームを活用した協調融資に積極的に取り組み、企業のニーズに的確かつ迅速に対応することで、地場企業及び地域経済の発展に貢献してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

西日本シティ銀行 法人ソリューション部 広川・加^か来^く TEL092-461-2021
日本政策投資銀行 九州支店 笠原 TEL092-741-7831

* 1 : EBO (Employee Buy Out)

従業員がファンド等と協力し自社を買収、株主兼従業員として会社を存続させるもの。

* 2 : 九州事業継続ブリッジ投資有限責任組合

主に九州地区の中小企業の事業継続を支援し、九州経済を活性化させようと、独立行政法人中小企業基盤整備機構のほか、九州を代表する地域金融機関 5 行（鹿児島銀行、十八銀行、筑邦銀行、西日本シティ銀行、肥後銀行）[五十音順]の出資により設立され、株式会社ドーガン・インベストメンツが管理運営を行う地域特化型のバイアウトファンド。

(本件概要図)

